

## 教育委員会協議会議題

平成18年9月28日

### 1 協議事項

(1) 学区の弾力化について(資料1 学校教育課)

### 2 報告事項

(1) 第1回小中学生の教育に関する市民満足度・重要度調査について(資料2 教育政策課)

(2) 第12回全国報徳サミット小田原市大会について(資料3 生涯学習政策課)

## 学区の弾力化について

### 1 経過

- ・ 学区制度の弾力化については、「小田原市学区審議会」(平成15～16年度)にて審議し、平成17年4月1日から、一定の弾力化が図られたが、当面の課題として、当審議会から、「部活動を理由とした入学」、「自宅から近い学校への通学」、「小規模特認校制度の実施」を検討するよう答申がなされた。
- ・ このうち、「小規模特認校制度の実施」(現行の学区制度を維持したままで、小規模校の有する特色ある教育内容や環境等を生かして、小規模校に限り市内全域から児童・生徒が通えるようにする)については、現在、小規模校において特色づくりを進めていることから、導入は時期尚早であるとの判断に至った。
- ・ 小田原市教育委員会では、地域と連携した学校づくりを進めることを基本としているが、同時に保護者や児童生徒の要望にも対応できるよう「部活動を理由とした入学」、「自宅から近い学校への通学」について、平成19年度から実施する方向で検討することとなった。
- ・ 平成18年7月以降、学校、自治会、PTA関係等と調整を進めている。

### 2 今後の進め方(予定)

- ・ 10月26日：小田原市教育委員会定例会にて正式決定
- ・ 11月15日：「広報おだわら」等にて市民周知
- ・ 11月15日～1月末：小田原市教育委員会にて相談受付

### 3 実施案について

#### (1)「部活動を理由とした入学」

##### ア 実施内容

部活動の参加の機会を均等に持ち、より充実した中学校生活を送ることができるようにするため、指定校に希望する部活動がない場合(当該活動が小学校時において1年以上実績がある場合に限る)に、当該部活動がある中学校で自宅から一番近い学校に変更できるよう、指定変更許可基準の一部改正を行う。

##### イ 対象者

新中学1年生

#### (2)「自宅から近い学校への通学」

##### ア 実施内容

指定校までの通学距離が、児童に対して著しく過重な負担(指定校までの通学距離が概ね2km以上)となる場合に、自宅から近い他の小学校へ通学できるよう、指定変更許可基準の一部改正を行う。

##### イ 対象者

新小学1年生及び転入・転居の小学1年～6年生

## 第1回小中学生の教育に関する市民満足度・重要度調査について

## 1 調査の目的

学校教育に関する市民の意識は、第4回市民満足度・重要度調査では、「重要なことと捉えているが、やや不満」という結果が出ており、この傾向は過去の調査においても概ね同様である。一方、健康と教育を市政の柱として掲げる小田原市は、とりわけ学校教育の充実を目指している。

そこで、「やや不満」という市民の意識を詳細に調査分析し、今後の学校教育行政の施策に活かしていく。

## 2 調査方法

- (1) 調査区域 小田原市全域  
(2) 調査対象 市内在住の18歳以上の3,000人

## 【内訳】

H6.4.2 ~ H12.4.1の間に生まれた子(小学生)のいる世帯に属する者  
1,000人

H3.4.2 ~ H6.4.1の間に生まれた子(中学生)のいる世帯に属する者  
500人

・ 以外の18歳以上の者 1,500人

- (3) 抽出方法 小田原市住民基本台帳から12中学校区ごとの地域系統抽出  
(4) 調査方法 郵送調査法(郵送による配布、回収)  
(5) 調査期間 平成18年9月15日(金)~29日(金)  
(6) 設問 5択性  
設問ごとに不満の理由を自由記述

## 3 分析方法

- ・ 回答者属性
- ・ 設問ごと属性別分布グラフ
- ・ 設問別集計
- ・ 属性別満足度及び重要度

・ 不満の理由

平成18年9月  
小田原市  
小田原市教育委員会

第1回  
小中学生の教育に関する  
市民満足度・重要度調査

【ご記入にあたって】

- ・ この調査は、小田原市の小中学生に対する教育の現在までの取り組みに関するあなたのお考え（満足度や重要度）をお聞きするものです。
- ・ 調査の対象者は、小田原市在住の18歳以上の方の中から無作為に抽出させていただきました。封筒の宛先にお名前を書かせていただいた方ご本人様がご記入ください。
- ・ この調査票は、どなたが書いたかわからないようになっていきますので、お考えになっていることや、お感じになっていることをありのままにご回答ください。
- ・ いずれの質問も、回答にある番号に印を付けていただく形式となっております。質問文の指示に従ってご回答ください。
- ・ ご回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封いたしました返信用封筒に入れて、平成18年9月29日（金）までに投函してください。調査票、返信用封筒ともに無記名で結構です。また、切手は不要です。

ご協力よろしくお願いたします。

この調査についてご不明な点やご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

小田原市役所教育政策課

〒250-8555 小田原市荻窪300番地  
：0465-33-1676（教育政策担当直通）



あなた自身についてお伺いします。該当するものに 印を付けてください。

ア お住まいの地域はどの学校区ですか。

小 学 校	1	三の丸小学校	2	新玉小学校	3	足柄小学校	4	芦子小学校
	5	大窪小学校	6	早川小学校	7	山王小学校	8	久野小学校
	9	富水小学校	10	町田小学校	11	下府中小学校	12	桜井小学校
	13	千代小学校	14	下曾我小学校	15	国府津小学校	16	酒匂小学校
	17	片浦小学校	18	曾我小学校	19	東富水小学校	20	前羽小学校
	21	下中小学校	22	矢作小学校	23	報徳小学校	24	豊川小学校
25	富士見小学校							
中 学 校	1	城山中学校	2	白鷗中学校	3	白山中学校	4	城南中学校
	5	鴨宮中学校	6	千代中学校	7	国府津中学校	8	酒匂中学校
	9	片浦中学校	10	泉中学校	11	橘中学校	12	城北中学校

学校区がご不明の場合には、お住まいの大字（例 栄町一丁目等）をご記入ください。

（ ）

イ 性別

1 男      2 女

ウ 年齢

1 19歳以下      2 20歳代      3 30歳代      4 40歳代  
5 50歳代      6 60歳代      7 70歳以上

エ 職業

1 自営業      2 常勤（市内お勤め）      3 常勤（市外お勤め）  
4 非常勤（パート・アルバイト）      5 学生      6 無職

オ 小田原市での居住年数

1 1年未満      2 1～5年      3 6～10年  
4 11～20年      5 21年以上

カ あなたの同居のご家族には、現在次のようなお子様がいますか。該当するものをすべてあげてください。

1 就学前の幼児      2 小学生      3 中学生      4 高校生・大学生      5 いない

以下、設問となります。よろしくお願ひします。

(学力の向上・学習意欲の向上)

問1 教育委員会では、学習実態調査を実施し、児童生徒一人ひとりの学力を把握・分析するとともに、より分かりやすい授業になるよう努めています。あなたは、小田原市立の小中学校における学力の向上・学習意欲の向上を図るための取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(学校行事)

問2 小田原市立の小中学校では、児童生徒の成長の姿を保護者とともに実感できる運動会・学習発表会・音楽会などの学校行事が行われています。あなたは、これらの学校行事について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(きめ細かい指導)

問3 教育委員会は、教員の配置基準数以上に、市独自に人材を配置して、少人数学級編制や複数による指導などを進めています。あなたは、このようなきめ細かい指導、個に応じた指導の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(学校・保護者・地域が一体となった取組み)

問4 教育委員会は、小中学校に学校評議員を置き、スクールボランティアを取り入れるなど、地域と協力して児童生徒の健やかな成長を目指した取組みを進めています。あなたは、このような学校・保護者・地域が一体となった取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満足	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(2学期制の実施)

問5 教育委員会は、児童生徒の学校生活の充実と学力の向上を目指して、平成18年度から、市内全小中学校で、2学期制を実施しました。あなたは、2学期制の実施について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満足	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(部活動)

問6 中学校における部活動は、生徒の心身の健全育成をねらいとして行われています。正規の教育課程ではないため、教員の理解と努力によって放課後や休日などに運営されており、地域の方々にも部活動外部指導者として協力いただいています。このような部活動について、あなたは、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満足	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(個人差に応じた指導)

問7 教育委員会は、言葉や心に課題を抱えているため特別な支援が必要な児童生徒に対して、「ことばの教室」・「特別支援教育相談室」・「コミュニケーションの教室」などの取組みを行っています。あなたは、このような個人差に応じた指導について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(不登校に対する取組み)

問8 教育委員会では、不登校の児童生徒やその保護者に対して、教育相談や家庭訪問を行ったり、不登校の児童生徒の学びの場としての相談指導学級を設置したりするなど、不登校対策に取り組んでいます。あなたは、これらの不登校に対する取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(専門家による相談体制)

問9 教育委員会は、問題行動の低年齢化や多様化に伴い、児童生徒・保護者の不安や悩みの相談に応じるために、専門家による相談体制を整えています。あなたは、このような専門家による相談体制について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満足度					重要度				
不満	やや不満	普通	やや満足	満足	全く重要でない	重要でない	普通	重要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 安心安全確保のための取組み )

問 10 教育委員会は、児童生徒の安心安全確保のために、地域の方にも協力をいただいて、各校の防犯ボランティアの拡充、民間企業の巡回車両などに防犯パトロールのためのステッカー掲示、不審者情報メールの配信などを行っています。あなたは、これら **安心安全確保のための取組みについて**、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 学校教育の情報発信 )

問 11 教育委員会は、小中学校の活動などを含めた学校教育の取組みを「広報おだわら」や小田原市ホームページ、教育かわら版などを通じてお知らせしています。あなたは、**学校教育の情報発信について**、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 教育委員の取組み )

問 12 教育委員会は、教育委員による会議の公開や、市立幼稚園・小中学校で教育委員と保護者とが懇談するスクールミーティングなどを開催して、開かれた教育委員を目指しています。あなたは、**教育委員の取組みについて**、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(子どものしつけや道徳性)

問 13 子どものしつけや道徳性を養うための取組みは、学校と家庭が連携を密にし、子どもを取り巻く教育環境全般を通して高めていく必要があります。あなたは、それぞれの取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

(1) 学校におけるしつけや道徳教育について

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(2) 家庭におけるしつけや道徳教育について

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

(教員の指導力)

問 14 教育委員会は、児童生徒の意欲を引き出す分かりやすい授業や、集団を通してコミュニケーション能力を伸ばす学級づくりなどの、教員としての指導力の向上に取り組んでいます。あなたは、児童生徒に対する教員の指導力について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 教員の社会人としての資質 )

問 15 教育委員会は、良識ある言葉遣いや応対、社会人としてのマナーなどを身に付けた教員の育成をめざして、さまざまな研修の機会を通して指導しています。あなたは、これらの教員の社会人としての資質について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 教員の教職への情熱 )

問 16 教育委員会は、児童生徒に対する愛情や教職に対する情熱を持った教員を育成しようと、さまざまな研修の機会をとらえて指導しています。あなたは、教員の教職への情熱について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 小中学校の施設整備 )

問 17 教育委員会は、市立小中学校の耐震補強工事、トイレ改修、エアコン設置や、時代に即した校舎リニューアル事業などの多くの施設整備を毎年行っています。あなたは、小中学校の施設整備について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 学校施設の開放 )

問 18 教育委員会は、市立小中学校の校舎や体育館、グラウンドを教育の妨げにならない限り、市民の皆様に開放しています。あなたは、この学校施設の開放の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 児童生徒の健康管理 )

問 19 教育委員会は、児童生徒の健康保持のため、心疾患検診、腎疾患検診、ぎょう虫卵検診、脊柱わん症検診などを実施しています。あなたは、このような児童生徒の健康管理について、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 小中学校敷地内の全面禁煙 )

問 20 教育委員会は、平成 16 年 4 月から小中学校敷地内の全面禁煙を実施しています。あなたは、この小中学校敷地内の全面禁煙の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 学校給食 )

問 21 小田原市では、すべての小中学校において給食を実施しています。学校給食では地域で生産された食材をその地域で消費する「地産地消」にも取り組んでいます。あなたは、本市の学校給食の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 食育の取組み )

問 22 近年、子どもの健全な育成にとって「食」の重要性が注目されています。教育委員会では、「給食だより」や「給食一口メモ」の配布、また「親子料理教室」「学校給食展」などの開催により、児童生徒や家庭への啓発活動も行っています。あなたは、これらの食育の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

( 3つの目標 )

問 23 小田原市の学校教育推進計画では、「創造性や論理的に考える力を持った子どもの育成」、「コミュニケーション能力を身に付けた子どもの育成」、「健康な心、健康な身体を持った子どもの育成」の3つの目標を定め、問 22 までに掲げた事業などに取り組んでいます。あなたは、この3つの目標に対する小田原市の取組みについて、どのくらい満足、重要とお考えですか。

満 足 度					重 要 度				
不 満	やや不満	普 通	やや満足	満 足	全く重要でない	重要でない	普 通	重 要	極めて重要
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

[ご不満の理由]

( )

これで調査は終了となります。ご協力ありがとうございました。  
調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、  
平成18年9月29日(金)までに投函してください。切手は不要です。

## 第12回全国報徳サミット小田原市大会について

### テーマ 報徳の心を生かす「活力と魅力のあるひとづくり、まちづくり」

#### 1 開催趣旨

今日の日本社会の情勢は、政治、経済、教育、家庭環境等、さまざまな分野で混迷が深まり、人々は道徳観や博愛の精神の欠如した社会に大きな不安を抱いています。

このような状況において、江戸時代に多くの疲弊した村々を救い、人々を物心両面から豊かな生活へと導いた二宮尊徳の教えは、今の私たちにとって学ぶところが非常に多いと考えます。

明日の見えにくい困難な時代に、尊徳ゆかりの市町村等が二宮尊徳の生まれ育った小田原の地に集い、尊徳が実体験から得た「至誠」「勤労」「分度」「推譲」や「積小為大」等の『報徳の教え』を、今一度捉え直す機会を持つことは大変意義深いものと言えます。

そこで、地方分権時代の今日的な視点から尊徳の業績に学び、その精神を「活力と魅力のあるひとづくり・まちづくり」について生かすため、全国報徳サミット小田原市大会を開催します。

2 主催 全国報徳サミット小田原市大会実行委員会

3 共催 全国報徳研究市町村協議会 小田原市 小田原市教育委員会

4 協賛 神奈川県西湘地域県政総合センター

5 後援 文部科学省 神奈川県 神奈川県教育委員会

6 期日 平成18年10月20日(金)[尊徳命日]～21日(土)

7 会場 小田原市民会館大ホール ほか

8 参加市町村(二宮尊徳ゆかりの地 22市町村 平成18年度)

北海道 豊頃町

福島県 相馬市 南相馬市(旧原町市・旧鹿島町・旧小高町) 大熊町 浪江町 飯館村

茨城県 筑西市(旧下館市) 桜川市(旧大和村)

栃木県 鹿沼市 日光市(旧今市市 旧栗山村) 真岡市 二宮町 茂木町 那須烏山市(旧烏山町)

千葉県 成田市

神奈川県 小田原市 南足柄市 秦野市

静岡県 掛川市 御殿場市 伊豆市

三重県 大台町(旧宮川村)

8月末現在参加の確定している市町 15市町

その他 小田原市周辺の市町が参加予定

9 参加者 上記の市町村長 市町村議会議員 同関係者 各種団体会員 一般市民 約1,000人

10 内容 開催地二宮尊徳生誕の地等見学、全国報徳研究市町村協議会総会 交歓会、基調講演、パネルディスカッション、大会宣言決議等

11 大会概要 裏面のとおり

## 第12回全国報徳サミット小田原市大会概要

第1日 平成18年10月20日(金)

全国報徳研究市町村協議会関係者行事

- 13:30 小田原駅西口出発
- 14:15 尊徳生誕の地小田原市栢山  
二宮家菩提寺・善栄寺(二宮尊徳先生を偲ぶ集い)
- 15:15 尊徳関係遺跡見学(尊徳墓所・捨苗栽培地跡)  
二宮尊徳生家見学  
尊徳記念館見学(展示室・小学生による二宮尊徳学習事業  
成果展示・尊徳祭の展示コーナー等)
- 16:00 尊徳記念館出発  
「報徳橋」経由で「松苗植栽地跡(坂口堤)」を車内から見学
- 16:30 報徳会館(報徳二宮神社内)着
- 17:00 全国報徳研究市町村協議会総会等

第2日 平成18年10月21日(土) 会場 小田原市民会館大ホール

- 9:15 市民会館 一般参加者受付
- 10:00 市長挨拶・県知事挨拶(予定)等
- 10:30 基調講演  
講師:三戸岡 道夫 氏  
演題:「現代に生きる報徳の教え」  
二宮尊徳の教えが、現代ビジネスに生きる実例を検証する
- 12:00 休憩(昼食)・アトラクション  
(12:30~12:55) 小田原少年少女合唱隊による歌声
- 13:00 尊徳ゆかりの地の市長などによるパネルディスカッション
- 14:30 大会宣言決議
- 15:00 終了

### [基調講演講師プロフィール]

三戸岡 道夫(みとおか・みちお)

作家(日本ペンクラブ会員)。大日本報徳社副社長。東京大学法学部卒業後、協和銀行に勤務、副頭取となる。退職後に作家活動に入り、銀行に関する作品のほか、歴史小説にも精力的に取り組んでいる。尊徳に関する作品には、「二宮金次郎の一生」や「二宮金次郎と13人の世界人」がある。